

備前市事務事業評価シート

事業の概要		平成17年度		根拠法令・例規等	国民健康保険法			
事業開始年度	平成17年度							
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	問担当課(室)	保健課		
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり			問職・氏名	保険医療係長 河井 健治
	小項目	施策	07	保険給付(国保)				
事務事業名		04	財政調整基金事業					

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	国民健康保険に加入している被保険者
目的(何のために)	国民健康保険財政の健全な運営に資するため財政調整基金を造成する。
行政活動(どのような方法で)	基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法で保管し、経済事情の著しい変動や医療費の増大等による財源不足に備える。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	国民健康保険財政の健全運営

事業の実績					
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
国民健康保険財政調整基金	円	544,643,045	546,082,607	547,874,375	
国民健康保険財政調整基金積立金	円	267,625	1,439,562	1,791,768	
被保険者数	人	16,293	15,991	10,627	
直接事業費	千円	0	0	0	
必要人員	人				
人件費	千円				
事業費	千円				
事業費	千円				
国 庫 支 出 金					
受 益 者 負 担 金					
線 入 金					
市 債					
そ の 他 ()					
一 般 財 源		0	0	0	
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-	

結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
国民健康保険財政調整基金積立金	説明 積立額			
結果指標①	量	267,625	1,439,562	1,791,768
対前年比	%	-	537.9%	124.5%
活動コスト	円			
単位当たりコスト	円	0	0	0
結果指標②	説明			
対前年比	%			
活動コスト	円			
単位当たりコスト	円			

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
被保険者一人当たり基金保有額	目標値(A)	35000	35000	35000	35000
	実績値(B)	33428	34149	51555	到達目標年度
	達成率(B/A)	95.5%	97.6%	147.3%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
基金保有額/被保険者数 適正な財政運営のため基金保有額を指標としている。					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成20年度事業)	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> A 判定理由・課題認識 国民健康保険財政の健全財政を担保するものであることから必要な事業である。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> A 判定理由・課題認識 安全かつ有利な方法として、金融機関への定期預金として運用している。また、厳しい財政状況から複数の預金方法により財政調整機能を担保している。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> A 判定理由・課題認識 基金保有額は充足しているが、財政状況の悪化による取り崩し予定があることから更なる国保財政の安定に努める必要がある。

平成21年度の状況		目標値	結果指標量①	1,800,000	結果指標量②	成果指標量	52,000.0
状況	拡充		現状継続	○	見直し	縮小	整理統合
	休止		廃止・完了				
説明		基金取り崩しを最小限にして、安定した国保財政の運営に努める。					

総合評価		評価区分<A~E>	A
被保険者は医療制度改革の影響と人口の減少に伴い減少しており、被保険者一人当たりの基金保有額は充足している。しかし、国民健康保険財政は医療費の増加により厳しい運営が予測されていることから今後も継続した積立を行ない、安定した財政運営を行うことで被保険者からの国民健康保険制度に対する信頼を得る。			

平成22年度以降の方向性・内容		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明		基金取り崩しを最小限にして、安定した国保財政の運営に努める。							
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期		改善により期待される効果				